

九州医師会連合会第 130 回臨時委員総会（報告）

日 時：令和 7 年 11 月 28 日（金）17：00～17：50

場 所：ホテル日航福岡 都久志の間

出席者：田名会長、稲田副会長、平安副会長、

涌波常任理事、大屋祐輔先生（日医代議員）

去る 11 月 28 日（金）、ホテル日航福岡にて標記臨時委員総会が開催された。本臨時委員総会では九州医師会連合会事業現況や、総会及び医学会関連行事等の報告事項 4 題、並びに第 125 回九州医師会連合会総会の宣言・決議（案）が承認可決されたので、その概要を報告する。

1. 開 会

瀬戸裕司委員より開会が宣言された。

2. 挨 拶

九州医師会連合会長 蓮澤浩明

先週、国民医療推進協議会主催で開催された「国民医療を守るために総決起大会」では、全国から 1 万人の医療関係者が参加し、物価高騰と賃金上昇に対応するため、医療・介護分野への抜本的支援を求める決議が採択された。医療界は引き続き一致団結し、現在の危機的な状況に全力で立ち向かっていかなければいけない。

本日から 3 日間の日程で開催する九医連諸会議・諸行事が、今後より良い医療に向けた有意義な会となり、すべての行事が滞りなく遂行できるよう、ご協力を賜わりたい。

3. 来賓祝辞

日本医師会会長 松本吉郎

先週の「国民医療を守るために総決起大会」と同時刻に高市総理大臣と面会し、医療機関の安定経営のため、令和 7 年度の補正予算を確保していただきたいことや、令和 8 年度の診療報酬改定について真水による対応をお願いしたいことを訴えた。

今年度の補正予算案について、本日、医療・介護分野で合わせて 1.4

兆円超（医療 1 兆円、介護 4,000 億円）の予算が確保されたとのことである。これは当初、財務省が示唆していた額を大きく超える満額に近い回答である。特に、賃上げに 1,536 億円、物価上昇分として 3,805 億円が充てられることとなり、これが医療機関にとって身になる予算になると考える。

しかしながら、この補正予算はあくまでも足りない分を補う土台であり、これを発射台として医療界が一致団結し、次の診療報酬改定で大幅な財源確保を実現しなければならない。九州各県においても、より一層の国会議員等への働きかけをお願い申し上げる。

日本医師会常任理事 今村英仁

今回の補正予算は今までの分であり、本当の戦いはこれからだという気持ちで、常任理事として頑張りたい。

小職の担当分野としては、来年 3 月までに新たな地域医療構想のガイドライン策定が行われる予定である。これは医政局マターであるが、今回の診療報酬改定も深く結びついていると考えている。2040 年を目指した議論のあり方ということで、方向性が間違わないよう発言していく。

また、かかりつけ医機能報告の研修制度についても具体的な動きが始まるため、今後、先生方のもとを訪れて詳細を説明できたらと考えている。

日本医師会常任理事 濱口欣也

小職の担当分野である周産期医療については、集約化の傾向があるが、日本での分娩の約半数は診療所が担っている状況である。妊産婦健診や産後ケアを含め、地域で安心して出産できる医療体制を維持していくためには、診療所は欠かせない存在である。

今回の補正予算案では、産科・小児科への支援として 72 億円が確保されたと聞いている。この支援が地域に十分に行き渡るよう努めたい。

また、社会保障審議会の医療保険部会では、出産費用の無償化に向けた議論が始まっています。令和 8 年度を目指し、施設経営に配慮しつつ、自己負担無償化を目指す具体的な制度設計が検討されている。

日医としては、分娩を取り扱う病院や診療所が安定して事業継続で

きる基盤をまず整備した上で、安心安全な分娩を提供できるよう、厚生労働省としっかりと議論していく。

参議院議員 釜范敏

医師会役員から国會議員へと立場が変わった今、医師会が果たす役割はとても重要であり、国民にとってなくてはならないものだと改めて感じている。医師会活動は、医療機関や介護施設の存続だけでなく、国民に医療・介護・福祉を持続して提供していくという覚悟があってこそのことである。

補正予算については閣議決定されたが、医療法の改正案は衆議院を通過し、参議院での審議が進められていく予定である。

また、OTC 類似薬の保険適用については、保険適用から外す形ではなく、患者の自己負担を増やしていき、医療の財源に貢献する方向で整理していく必要がある。

今後も全力を尽くして参るので、引き続ご支援をお願いしたい。

4. 座長選出

慣例により蓮澤浩明 九州医師会連合会長が務めることになった。

5. 報 告

1) 第 426 回常任委員会について（福岡）

蓮澤座長より、16 時から別室にて標記常任委員会を開催し、九州医師会連合会事業現況や総会及び医学会関連行事等の報告事項 10 題、並びに入国者収容所等視察委員会委員の推薦等の協議事項 3 題について審議した旨報告があった。

2) 九州医師会連合会事業現況について（福岡）

桑野恭行委員より、令和 7 年 7 月 1 日から 10 月 31 日迄の 4 ヶ月間に開催した諸行事は、常任委員会（4 回）、委員総会（1 回）、連絡協議会（1 回）、その他の連絡協議会等（1 回）、その他の関係行事（3 回）である。また、慶弔等の対応については規定に基づき対応している旨報告があった。

4) 第 125 回九州医師会連合会総会及び医学会関連行事について (福岡)

桑野恭行委員より、11月 28 日（土）の合同協議会、総会・医学会、29 日（日）の分科会・記念行事の日程について報告があった。

6. 議 事

第 1 号議案 第 125 回九州医師会連合会総会の宣言・決議（案）に関する件

蓮澤座長より、標記の宣言・決議案は、九州各県医師会への意見照会を経て、先ほど開催された常任委員会で承認された旨説明があった。続いて、一宮仁委員により宣言・決議（案）が朗読され、審議の結果、原案どおり承認可決された。これにより、翌 29 日（土）の総会に上程することが決定した。

7. その他の事

座長より提案事項がないか確認を行ったが、特になかった。

なお、蓮澤会長より、先に開催された常任委員会において、日本医師会の次期会長候補として、松本吉郎会長に出馬を要請することが決まった旨報告があった。

委員総会の出席者からも賛成の意が示され、松本会長より出馬要請に対するお礼と、今後の抱負が述べられた。

8. 閉 会

瀬戸裕司委員より閉会が宣言された。